

# スプレー缶やカセットボンベは、 中身を使い切ってください！

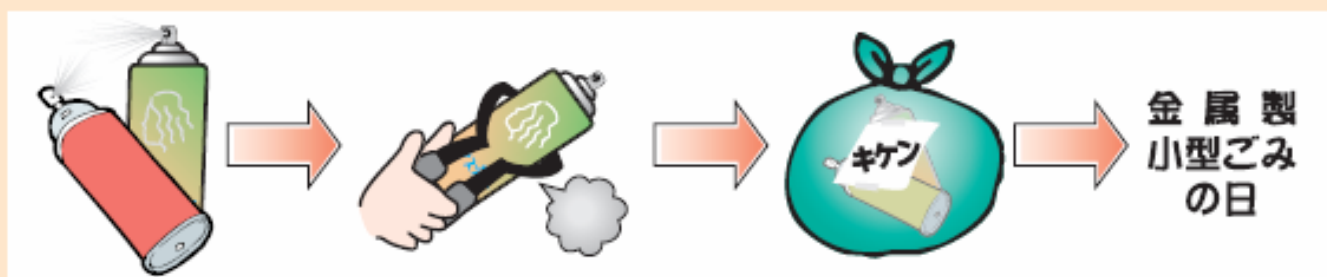
ごみ収集車や処理施設での火災事故が多発しています



「金属製小型ごみ」や引っ越しなどの「臨時ごみ」で、中身の残ったスプレー缶やカセットボンベのガスが、収集車や処理施設の中で発火し、火災や爆発を引き起こす原因になっています。

## スプレー缶やカセットボンベの出し方

- ①中身を使い切る
- ②市販されている専用器具などで、できるだけたくさんの穴をあける
- ③指定袋に入れ、「キケン」と書いたメモをはる
- ④「金属製小型ごみ」の日に出す



※穴をあけるときは、次の点にご注意ください

- くぎをさしたり、ハンマーでたたいたりしないでください(爆発する恐れがあります)
- 必ず中身を使い切ったあと、風通しのよい戸外でしましょう

その他、火災や爆発事故を防ぐために…

- ・石油ストーブ、ファンヒーターを大型ごみや臨時ごみに出すときは電池と灯油を必ず抜いてください
- ・そのほか電池を使用しているものは、必ず電池を抜いてください。特に電池を抜いていない湯沸器、ガスコンロは点火源となり大変危険です